

つくる会 FAX 通信

第 124 号 平成 16 年(2004 年) 11 月 9 日(火) 送信枚数 1 枚
TEL 03-5800-8552 FAX 03-5804-8682 <http://www.tsukurukai.com>

こんなセンター試験 もうイヤだ！ 朝鮮人強制連行なんて なかった！

早大学生サークルがシンポジウムで訴える

シンポジウム「裁判だ！訴えるぞ 2004 こんなセンター試験もうイヤだ！朝鮮人強制連行なんてなかった」(早稲田大学国策研究会主催)が 11 月 6 日、早稲田大学で開かれました。特別報告者として駆けつけた山谷えり子参院議員は、昨年 9 月の国会で川口順子外相が「(朝鮮人強制連行について)昭和 34 年に外務省が調査したが、そうした事実はない」と答弁したことを報告。パネリストの西岡力「救う会」副会長、鄭大均東京都立大学教授、藤岡信勝拓殖大学教授、内田智弁護士の 4 氏は、それぞれ専門の立場から真実に迫る発言を重ね、「朝鮮人強制連行」はなかったこと、それを試験問題に出してはいけないこと、を明らかにしました。

<シンポジウムの開催趣旨> 今年 1 月の大学入試センター試験「世界史」に「朝鮮人強制連行」を正答とする設問が出されたのをご存知ですか。近年特に顕著となってきたこのような悪質な出題に対し、去る 7 月 7 日、ついに現役大学 1 年生 7 名が入試センターを相手に民事提訴を行いました。社会に対して正しいことをはっきりと主張することは学生の本分であり、また責務でもあります。僕たちは彼らの勇気ある行動を全力で応援する意味を込めて、今回焦点となった「強制連行」問題の真実を第一線の専門家の方々を交えてもう一度はっきり見つめなおしてみたいと考えています。

民団の皆様 真実の歴史を学んで下さい！

日韓の近代史をめぐる石原都知事の発言を批判した民団パンフへの
全面的反論パンフを作成・頒布 自由主義史観研究会

在日朝鮮人の団体である民団(在日本大韓国民団)は、『韓国と日本 あらためて近代史を考える』というタイトルのパンフレット(全 20 頁)を発行しています。同パンフは昨年 10 月に北朝鮮による日本人拉致問題の解決を求めて開かれた集会で、石原慎太郎東京都知事が日韓の歴史にふれた発言を「妄言」として批判したのですが、同パンフの語る歴史は決して真実ではありません。そこで、自由主義史観研究会は、全面的に「真実の歴史」を提示して率直な対話の道を開こうと、標題のパンフレット(A 4 判 28 頁、送料別 200 円)を作成しました。

発行元=(株)クリオ情報企画(電話 03-5805-6190 FAX 03-5805-6199)へ直接お申込みを。